

【令和5年3月24日（金）】

令和5年3月定例会 一般質問通告一覧

発言順	通告者	質問事項（質問要旨は別紙）	質問の相手
1	石山貴美夫	令和5年度予算で、町は、「新規」で、どんな事業を進めるのか伺う。	町長
2	大竹勝子	1 異次元の子育て支援策を講じて子育てしやすい町をつくり、若者が移り住みたくなる町づくりを 2 寸又のプロムナードコースのゲートから夢のつり橋の上までのバリアフリー化を図るべきではないか	町長 教育長 町長
3	佐々木直也	1 「森林環境譲与税」の活用について 2 「観光施策のビジョン」について	町長 町長
4	中澤荘也	1 令和5年度における町長の施政方針について 2 “ぬくもりとふれあい だれもが健やかに暮らせるふるさとづくり”の実現について	町長 町長
5	中原 緑	1 大井川鐵道の運転見合わせ（家山～千頭間 臨時代行バス）と、町の観光業について 2 町の公園整備について	町長 町長
6	野口直次	令和5年度当初予算編成の3本柱について	町長

※議員の質問の制限時間は30分以内（質問時間のみ）とし、再質問以降は一問一答方式とする。

発言順 1 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
石山貴美夫	令和5年度予算で、町は、「新規」で、どんな事業を進めるのか伺う。	<p>令和5年度予算で上げた3本柱『安心・安全な生活基盤』『主要産業の活性化』『定住・移住の促進』は、昨年度当初の予算と大きく変化した。認識の変化を伺う。</p> <p>(1) 災害復旧と合わせて「災害に強い町づくり」という方針を上げている。具体的にどのような町づくりをされるのか伺う。</p> <p>① 災害復旧の状況と見通しは。</p> <p>② 安心安全な生活基盤とは。</p> <p>③ 災害に強い町づくりとは何か。</p> <p>(2) 「主要産業の観光と農林業の活性化」とはどんなことをされるのか伺う。</p> <p>①観光の活性化の具体策は何か。</p> <p>②町観光振興計画の新計画の内容について。</p> <p>③大井川鐵道の影響・将来について。</p> <p>④寸又峡夢のつり橋と遊歩道について。</p> <p>⑤新規「茶工場修理費助成」について。</p> <p>⑥新規「有機農業関連」事業について。</p> <p>(3) 『移住定住』との常の表現から、「定住・移住」と言い換え、「その促進、住み続けることへの支援」と言い変えた真意を伺う。</p> <p>①定住の促進について。</p> <p>②担当企画課を経営戦略課とする意図について。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

発言順 2 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
大竹 勝子	<p>1 異次元の子育て支援策を講じて子育てしやすい町をつくり、若者が移り住みたくなる町づくりを</p> <p>2 寸又のプロムナードコースのゲートから夢のつり橋の上までのバリアフリー化を図るべきではないか</p>	<p>(1) 物価高騰の折、保育料無料化や給食費無償化を実施し、18 歳未満の子供に係る国保の均等割を廃止して、子育てしやすい町にする考えはないか。</p> <p>(2) 移住希望者が空き家を借りたり、買ったりなかなかできないと聞く。町としてそうした方々への住居の確保に思いきって力を入れる考えはないか。</p> <p>(3) 地域食材を積極的に学校給食に用いる考えはないか。</p> <p>夢のつり橋まで歩くのが大変で途中で戻ってしまうお年寄りがいると聞く。環境にやさしい電気自動車で送迎する等、急ぎ検討するべきではないか。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>

発言順 3 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
佐々木直也	1 「森林環境譲与税」の活用について	<p>(1) 予算特別委員会内で、「もっと積極的に使っていきたい」という旨の町長の発言があった。町づくりにどのように活かしていきたいのか、伺う。</p> <p>(2) 使途として、「森林整備」、「人材育成」の他に、「木材利用、普及啓発」がある。他自治体では木材利用、普及啓発の事例が数多くある。当町でも効果的な木材利用は、観光、子育て、教育など、幅広い良い作用があると考えられる。いかがか。</p> <p>(3) 12月定例会の一般質問で、「町内に子どもの遊び場を作っていただきたい」という質問をした。森林環境譲与税の活用を見込んだ公園や遊び場であれば、財政的にも無理なく、継続的、発展的なものができると思う。いかがか。</p>	町長
	2 「観光施策のビジョン」について	<p>(1) 大井川鐵道の状況が変わった今、「大井川流域地域DMO」について、今後のビジョンを伺う。</p> <p>(2) 来年度、「島田市観光協会」に職員が1名出向するとのことだが、どういったことを期待していることなのか。</p> <p>また、当町観光協会と島田市観光協会の現在の連携の状況と、今後、期待することについて伺う。</p>	町長

発言順 4 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中澤 莊也	<p>1 令和5年度における町長の施政方針について</p> <p>2 “ぬくもりとふれあい だれもが健やかに暮らせるふるさとづくり”の実現について</p>	<p>令和5年度の当初予算編成の3本柱として掲げられ、3月議会初日の行政報告の中でも、町長が重点施策として述べられていた次のことについて伺う。</p> <p>(1) 災害に強いまちづくりをどのようにして進めていく考えであるか。(具体策、当初予算への反映等)</p> <p>(2) 農林業・観光業の活性化をどのように図っていく考えであるか。(具体策、当初予算への反映等)</p> <p>(3) 定住・移住の促進をどのように図っていく考えであるか。(具体策、当初予算への反映等)</p> <p>住民が住み続けたいと思うまち、移住者に選ばれるまちの大きな要素として、医療体制の充実、欠かせない要素であると考える。</p> <p>(1) ICTを利活用して住民の利便性の向上、安心して暮らせる地域づくりの施策としてまちが取り組もうと考えたバーチャル・ホスピタル構想は、今、どのようになっているか、今後どのようにして進めていく考えであるか。</p> <p>(2) 医師不足による医師の負担軽減や、より充実した医療サービスの提供のために利用を検討されていた「ふじのくにネット」を利用した県立総合病院等の「遠隔診療」について、現況と課題、今後の医療機関への支援をどのように行っていく考えであるか。</p>	町 長

発言順 5 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
中原 緑	1 大井川鐵道の運転見合わせ(家山～千頭間臨時代行バス)と、町の観光業について	<p>(1) 大井川鐵道は台風 15 号により被災し、全線運休となり、12 月 16 日に家山駅までは復旧した。沿線住民、学生、観光客らは、家山駅～千頭駅間を代行バスで移動している。</p> <p>千頭駅下車数(代行バス)は、昨年 10 月は 691 人で、コロナ感染症対策の影響を受けた令和 2 年よりも 3,033 人減少した。</p> <p>SL やトーマスが町内の大井川沿線を走っている風景が見られないのは、観光地としての魅力低下につながっていると危惧する。</p> <p>大井川鐵道は、昭和初期に運行を開始し、地域交通、観光振興等の面での役割は重大である。大井川鐵道がこのまま運休止続けた場合の町民が受ける損失や影響はどんなものであるか伺う。</p> <p>(2) 令和 5 年度、観光事業予算について伺う</p>	町 長
	2 町の公園整備について	<p>(1) 定住・移住率を上げるには、満足度の高い生活環境が重要。選ばれる町となるためにも、安心・安全で、親子らが、半日から一日楽しめる公園を整備する必要があると思う。いかがか。</p> <p>(2) 第 2 次川根本町総合計画アンケート調査結果における「生活環境」満足度、重要度について伺う。</p>	町 長

発言順 6 番

質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
野口 直次	令和 5 年度当初予算編成の 3 本柱について	<p>1 「安心安全な生活基盤」について伺う。</p> <p>(1) 5 年度の災害復旧事業の内容と 6 年度への道筋について</p> <p>(2) 台風の被災者支援、生活再建への具体的な施策について</p> <p>(3) 全町民一丸の「災害に強いまちづくり」への、防災計画スケジュールについて</p> <p>(4) 5 年度の大井川鐵道全線における、復旧・復興の見通しについて</p>	町 長
		<p>2 「主要産業の活性化」について伺う。</p> <p>(1) コロナ禍における、「観光業の更なる飛躍」の支援・強化について</p> <p>(2) 農林業（茶業）の具体的な支援策について</p>	町 長
		<p>3 「定住・移住の促進」について伺う。</p> <p>(1) 町民が、「住み続けること」「穏やかに安心して暮らせる」ための、支援策について</p> <p>(2) 移住者が、定着できる継続的支援について</p> <p>(3) 物価高における「家庭、子供たちへの、支援策」について</p>	町 長